



日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門

1. 第3回運営委員会の開催

5月15日に第3回BA運営委員会が青森県六ヶ所村文化交流会館スワニーにおいて開催された。日本側の代表は、林文部科学省審議官(運営委員会議長、日本代表団長)、松本外務省国際科学協力室課長補佐、須藤核融合科学研究所副所長及び松田原子力機構執行役、欧州側は、トリアス欧州委員会研究総局エネルギー局長(欧州代表団長)、パイダッシー欧州委員会研究総局核融合課長代理、ピゴ仏原子力庁最高顧問及びヴァランダス高等技術研究所核融合研究センター長であった。

本運営委員会での主な決定事項等は、以下の通り。

- ・BA運営委員会およびその事務局を六ヶ所村に登録するための手続き上必要な口上書が承認され双方の実施機関の代表者により署名された。
- ・IFMIF/EVEDAのドリフトチューブ加速管の超伝導化を承認。
- ・IFERCの核融合計算機シミュレーションセンター(CSC)に設置する最先端のスーパーコンピュータの選定手順を承認。
- ・サテライトトカマクにおいては、トカマク型核融合装置「JT-60」の改修のための実質的な進捗状況を確認。
- ・日欧以外のITER加盟極の参加のガイドライン案を承認。(このガイドラインは、6月17、18日に青森で開催される第2回ITER理事会で加盟極に紹介される。)
- ・各プロジェクトの事業計画、年次計画(2008年)の承認。
- ・次回(第4回)は12月10日ドイツ、カールスルーエで開催予定。

2. 六ヶ所BAサイトの準備状況等

5月21日、文部科学省、青森県、六ヶ所村、施工企業など多数の関係者、来賓の出席のもとに、六ヶ所村のサイトに建設するBA施設建設工事の安全祈願祭が実施され、本格的な工事が開始された。今後の計画では、管理研究棟を初めとして給排水設備、守衛所、フェンス等が平成20年度中に、計算機・遠隔実験センター棟、原型炉R&D棟、IF-MIF/EVEDA開発試験棟の研究施設や特高受電所については平成21年度中に竣工する予定。

また、4月12日にフランソワ・フィヨン仏首相がサイトを訪れ、パスカル事業長からBAの事業や今後の計画について説明を受け、欧州からの研究者とその家族や同じくサイトを訪れた原田文部科学大臣政務官、三村青森県知事、古川六ヶ所村長、岡崎理事長などとも懇談した。



図2 第3回BA運営委員会
(平成20年5月15日、六ヶ所村文化交流会館スワニーにて)



図1 フィヨン首相のサイト訪問
(平成20年4月12日、六ヶ所BAサイトににて)



図3 六ヶ所BAサイトでの安全祈願祭
(平成20年5月21日)